

# I 大阪湾の概況

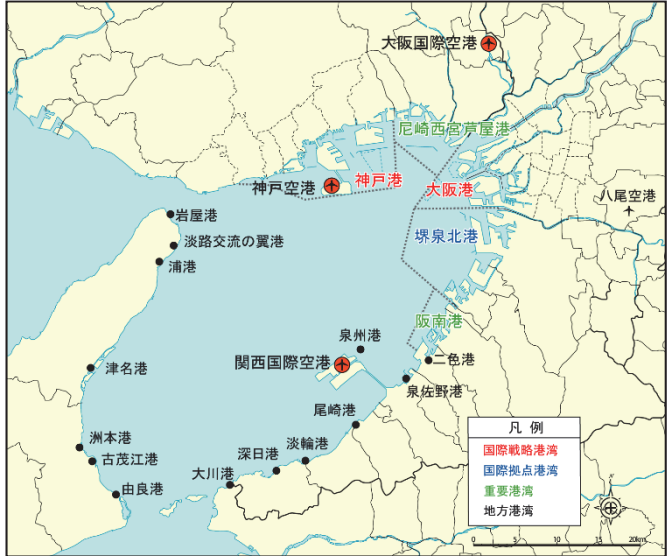
## 1. 海域区分、指標

大阪湾は、瀬戸内海の東端に位置し、紀淡海峡と明石海峡の2つの海峡を経て、それぞれ紀伊水道と播磨灘に連なっている。

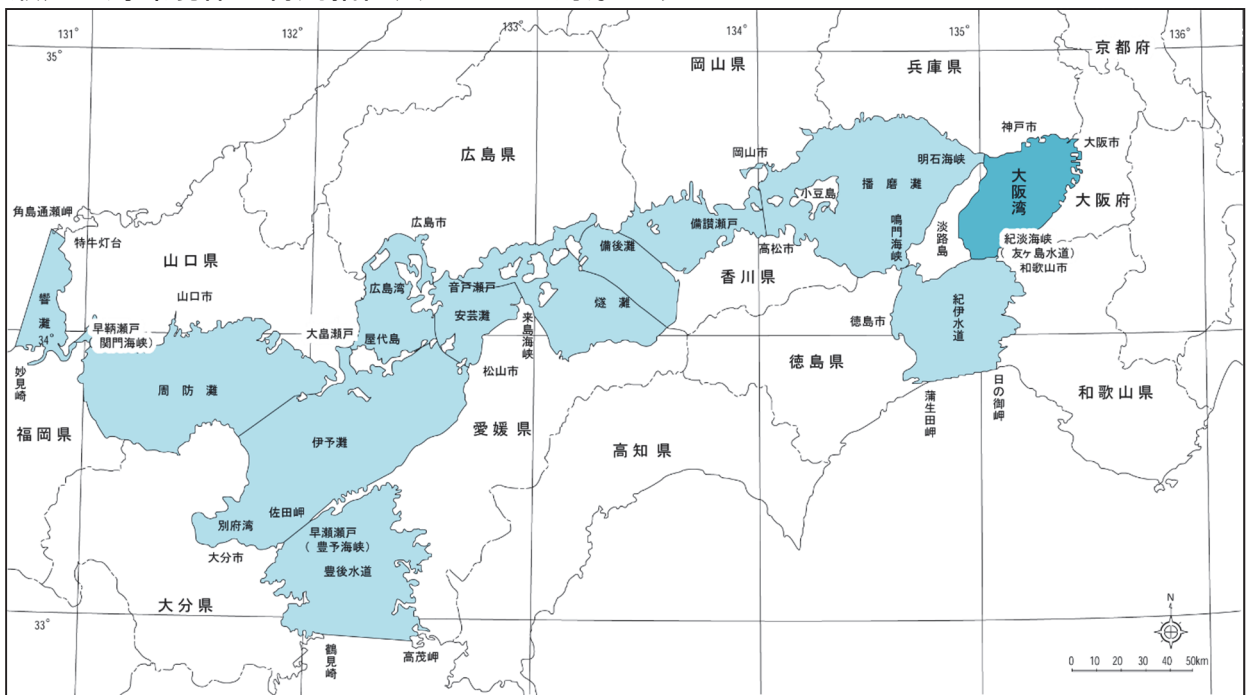
大阪湾内には多数の港湾があり、主に湾奥部には、2つの国際戦略港湾（神戸港、大阪港）、1つの国際拠点港湾（堺泉北港）及び2つの重要港湾（尼崎西宮芦屋港、阪南港）が位置しており、近畿圏の社会経済活動を支える重要な役割を担っている。

大阪湾は、三大湾（東京湾、大阪湾、伊勢湾）の中で、背後の陸域人口は東京湾に次いで2番目であるが、湾口部交通量は最も多く、海上交通の利用が盛んなことが特徴となっている。

大阪湾の港湾



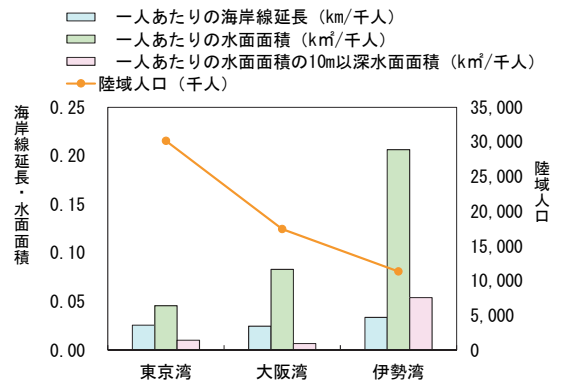
瀬戸内海環境保全特別措置法に基づく対象区域



(注) 湾・灘の区分は「瀬戸内海環境保全臨時措置法第13条第1項の埋立についての規定の運用に関する基本方針について」に準ずる。

三大湾（東京湾、大阪湾、伊勢湾）の主な指標

		単位	東京湾	大阪湾	伊勢湾	備考
陸域	人口 (平成26年)	千人	30,171	17,445	11,342	大阪湾再生推進会議資料
	面積	km <sup>2</sup>	7,703	11,200	18,054	
海岸線延長		km	778	429	382	国土交通省「海岸統計(平成30年度版)」
水面面積		km <sup>2</sup>	1,380	1,450	2,342	大阪湾再生推進会議資料
-10m以浅水面積		km <sup>2</sup>	308	117	612	大阪湾再生パンフレット「湾FOR ALL, ALL FOR 湾」(平成31年3月)
			22%	8%	26%	
港湾取扱貨物量 (平成29年)		百万トン	515.3 (19)	263.8 (10)	297.5 (11)	国土交通省「港湾統計年報2017」 ( )内は全国比
湾口部交通量 (平成30年)		隻/日	浦賀水道 509 (452)	明石海峡 573 (494)	伊良湖水道 405 (304)	海上保安庁「平成30年海難の現況と対策」 ( )内は漁船を除く隻数



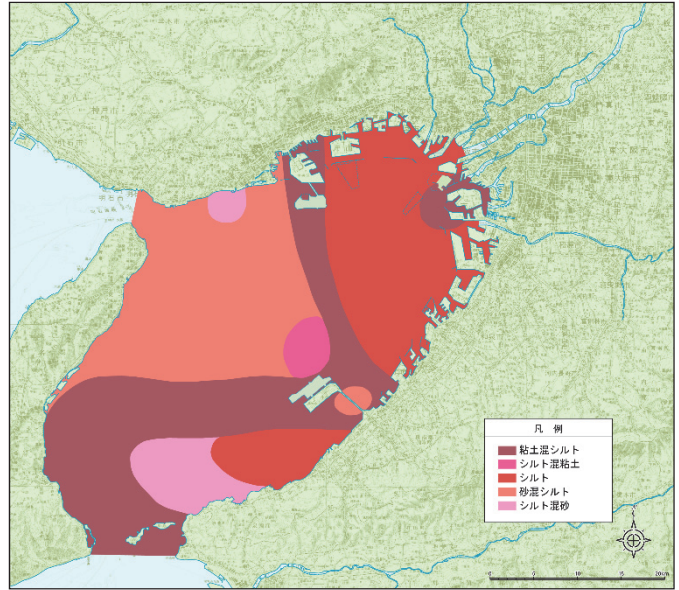


大阪湾は、周囲約160km、面積約1,400km<sup>2</sup>、北東から南西方向に約60kmの長軸を持つ楕円形の陥没湾であり、六甲山地、生駒山地、金剛山地、和泉山地（脈）等の標高500～1,000m程度の山地や、丘陵、台地、大阪平野等の低地と淡路島等によって囲まれている。

海底の地形は、東側には水深20mより浅い平坦な海底面が広がり、西側に向かうにつれて深くなり、海峡部では複雑な地形を呈している。

海底の性状は、湾奥部のほとんどの範囲がシルトであり、一部が粘土混シルトとなっている。湾中央部から湾口部のほとんどの範囲は砂混シルト又は粘土混シルトとなっている。

大阪湾の底質



標高・水深

